政策評価シート

対象年度	基本目標	1 子どもがいきい	作成部署
R2	政策	1 安心して子育て	こども未来部
		SDGsゴール 1	

← 基本目標・政策

この政策を担当する部名 →

コスト評価

	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
政策事業費（予算）			3,089,045	3,325,242
政策費/全体費				
政策事業費（決算）				
政策費/全体費				

比較（千円）	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
政策費増減額				236,197
比較				108%
				88,292
				110%

コスト分析と課題

行政経営システムを本格的に稼働したのが令和3年度となります。
そのため、システムに入力されていない数値は表示されません。
今後すべての数値が入り、比較ができるようになりましたら、「コスト評価」も行っていきます。

指標評価

総合計画	単位	現状値 A H27年度	目標値 B R7年度	実績値 C H30年度	R1年度	R2年度	期待値 D R2年度	達成率 C/D R2年度	評価	行政評価 指標評価
1 安心して子育てができ、子どもが健やかに育つまちづくり										
「子育てしやすいまち」だと思う市民の割合（市民アンケート調査結果）	%	80.2	85.0	77.9	79.6	80.4	82.3	97.7%	B	B
関連する施策										
幼稚園 割								100.0%	B	B
								100% (D		
関連する施策										

政策の進捗状況を図るため、指標を設けています。政策指標には、市民からの評価である市民アンケート調査数値及び事業を実施するうえで達成を目指す目標数値を設定しています。評価については、令和元年度から静岡県の評価基準を参考とした市の評価基準を設けています。現状値から目標値に向けて均等に推移した場合における各年度の数値を期待値として、令和2年度実績値の評価を行い、下表のとおり区分します。

【評価区分】

区分	内容
S	「R2実績値」が目標値以上のもの
A	「R2実績値」が「期待値」の＋30%超過～「目標値」未満のもの
B	「R2実績値」が「期待値」の±30%の範囲のもの
C	「R2実績値」が「期待値」の－30%未満～「現状値」以上のもの
現状値未満	「R2実績値」が「現状値」未満のもの
―	統計値等発表前、当該年度に調査なし等

指標の令和2年度実績値を令和7年度の目標値と比較して、下表のとおり行政評価を行います。

「成果」「効率」指標の達成度	評価
実績値が目標値の±30%以上のもの	S
実績値が目標値の+29.9%～緒+10.1%のもの	A
実績値が目標値の±10%の範囲のもの	B
実績値が目標値の－10.1%～－19.9%のもの	C
実績値が目標値の－20%未満～現状値以上のもの	D
実績値が現状値未満のもの	E

指標分析と課題

幼児施設の入所待機児童数は「国定義待機児童数0人」となったものの、すべての保護者のニーズに合えられていない状況であり、引き続き保育ニーズに応じた幼児施設の整備を進める必要がある。
また、児童館・子育て支援センターは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため2か月休館し、開館後も入場者数や時間を制限し開館しているため利用者数は激減している。
保護者の就労形態の多様化や子育て環境が変化する中、安心して子育てできるよう、子育て支援策の充実に努める必要がある。

評価分析

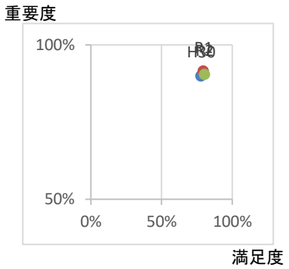
関連施策

施策名	担当課	指標評価 成果	成果2	総合判定評価 判定評価	R4の方向性 コスト	成果	改善	R4年度 拡充化○ 縮減化△
1 教育・保育サービスの				A	拡充	拡充	①	
2 幼児教育・保育の質の				A	維持	維持	①	
3 安心できる子育て環境				A	拡充	拡充	①	
4 子育て世代を応援しま				C	維持	維持	⑤	

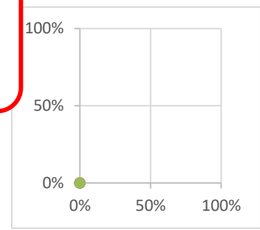
政策に紐づく施策シートの評価結果が表示されます。
詳細は【資料１－４　施策評価シート】をご覧ください。

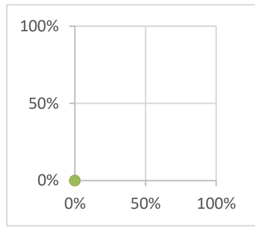
市民アンケート結果

設問	「子育てしやすいまち」だと思う市民の割合						
区分	開始時 H27年度	目標値 R8年度	結果（満足度下段：達成率） H30年度	R1年度	R2年度		
満足度	80.2%	85.0%	77.9%	79.6%	80.4%	そう思う（満足）	15.8%
						どちらかといえば思う	64.6%
			91.6%	93.6%	94.6%	どちらかといえば思わない	13.2%
						そう思わない（不満）	1.6%
重要度			89.9%	91.5%	90.4%	重要	54.0%
						どちらかといえば重要	36.4%
						重要ではない	6.0%



左側の「指標評価」欄の指標に市民アンケート調査結果が設定されている場合に、その結果の詳細が表示されます。





結果分析

「子育てしやすいまち」だと思う市民の割合の
境の充実である。満足度

部による政策の総合評価は、下表のとおり行っています。

政策の総合判定評価					
選択	A見直し・検討無し				
	B軽微な見直し検討（一部施策）				
	C見直し検討（複数施策）				
	D大規模な見直し検討（大半の施策）				
R4年度の方向性					
コスト	成果	改善			
選択 ・拡充	選択 ・拡充	選択 ①政策の進め方			
・維持	・維持	②政策規模			
・縮小		③政策内容			
		④施策統合・解体			
		⑤施策追加			

総合評価

総合判定評価	A	見直し・検討無し	R4年度の方向性	コスト	成果	改善	
				拡充↑	拡充↑	①	事業の進め方

第2期菊川市子ども・子育て支援事業計画に基づき各種事業を実施した。
保育園・認定こども園は、待機児童対策により小規模事業所が開設され、定員が前年度より18人増加し1,222人となった。
また、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯を支援する観点から、臨時特別給付金の支給に迅速に取り組んだ。
社会環境の変化や核家族化などにより出生数が減少する中、安心して子どもを産み育てる社会の実現、子どもたちが健やかに育つことができる社会の実現に向け、引き続き保育ニーズに応じた幼児施設の整備を進めるとともに、安心して子育てできる環境を整備していく。